

Citrix Workspace app for ChromeOS について

Citrix Workspace app for ChromeOS は、ChromeデバイスからCitrixホスト型ワークスペースアプリケーションおよび仮想デスクトップにアクセスできるネイティブのChromeパッケージアプリです。Chromeウェブストアから入手できます。

Citrix Workspace app for ChromeOS は、ChromeOSプラットフォームでのみサポートされています。このアプリは、ChromeOS以外のプラットフォームではサポートされなくなりました。Chromeウェブストアからアプリをインストールするには、[こちら](#)をクリックしてください。

Citrix Workspace app for ChromeOS をインストールすると、仮想アプリとデスクトップにアクセスできます。StoreFrontで追加の構成や展開オプションは必要ありません。

URLにGatewayが含まれていないストアの場合、ストアURLにはStore Webまでのパスを含める必要があります。例: `https://yourstore/Citrix/StoreWeb`。

機能、修正された問題、および既知の問題の詳細については、[このリリースについて](#)を参照してください。

Citrix Workspace app for ChromeOS でサポートされている機能のリストについては、[Citrix Workspace app を知る](#)を参照してください。

非推奨の項目については、[非推奨ページ](#)を参照してください。

ChromeOS 用 Citrix Workspace アプリをインストールする

エンドユーザーとIT管理者の両方が、ChromeOS 用 Citrix Workspace アプリをインストールできます。

Chrome ウェブストアからインストールする

エンドユーザーは、Chrome ウェブストアから ChromeOS 用 Citrix Workspace アプリを次のようにインストールできます。

1. <https://chromewebstore.google.com/detail/citrix-workspace/haiffjcadagljijoggckpgfnoeiflnem> をクリックします。

ChromeOS 用 Citrix Workspace アプリのウェブストアページが表示されます。

2. **Chrome に追加** をクリックします。

アプリがインストールされます。Chrome アプリを表示するには、Chrome ブラウザーで `chrome://extensions` に移動します。

Chrome 拡張機能 (/en-us/citrix-workspace-app/chrome/media/chrome-extension.png)

3. 使用するには、ChromeOS ランチャーで *citrix-workspace-app* を検索します。

注

アプリの使用を開始するには、エンドユーザーは有効なストアURLまたはメールアドレスを入力できます。通常、IT管理者がストアURLアドレスを提供するか、関連するストアURLでメールアドレスを設定します。組織のガイドラインに従ってください。

Citrix Workspaceアプリの基本

地域設定

citrix-workspace-app は、さまざまな言語、およびそれらの言語を使用する国や地域の時刻と日付の形式をサポートしています。

地域設定を使用すると、時刻、日付、および数値の形式をカスタマイズできます。

注：

このオプションは、Cloud 展開でのみ利用可能です。

カスタム形式を適用するには、次の手順を実行します。

1. citrix-workspace-app のホーム画面で、 をクリックし、 を選択します。
2. ダイアログで、 を選択します。

ウィンドウが表示されます。

The screenshot shows the 'Regional Settings' dialog box. On the left, there is a sidebar with three options: 'Edit Profile', 'Regional Settings' (which is selected), and 'Advanced'. The main area of the dialog is titled 'Regional Settings' and contains three dropdown menus. The first is 'Time Format: *' with the value '12-hour (9:43 AM)'. The second is 'Date Format: *' with the value 'MM/dd/yyyy'. The third is 'Number Format: *' with the value '1,000.00'. At the bottom of the dialog is a blue 'Save' button.

3. 必要な 、 、および を選択します。
4. をクリックします。

システム要件と互換性

このトピックでは、citrix-workspace-app でサポートされている Citrix 製品のバージョンと、ユーザーが仮想デスクトップおよびアプリケーションにアクセスするための要件を一覧表示します。

すべてのコンピューターが、インストールされているオペレーティングシステムの最小ハードウェア要件を満たしていることを前提としています。

要件

ユーザーデバイスは、citrix-workspace-app を使用してデスクトップおよびアプリにアクセスするために、最新の Google Chrome オペレーティングシステム (OS) を必要とします。Citrix では、Google ChromeOS Stable チャンネルの最新の citrix-workspace-app を使用することをお勧めします。ChromeOS 向け Citrix Workspace アプリは、ChromeOS でのみサポートされています。

citrix-workspace-app は、ChromeOS Flex オペレーティングシステムをサポートするようになりました。

注：

- End Of Life (EOL) の Chromebook デバイスは、Google ChromeOS の新しいバージョンに更新されません。EOL デバイスは、ChromeOS 向け Citrix Workspace アプリのすべての更新をサポートしていません。Google Chrome オペレーティングシステムの最新バージョンを推奨およびサポートしています。

Microsoft Teams の最適化要件

最小バージョン：

- Microsoft Teams のオーディオ通話、ビデオ通話、画面共有の最適化は、リリース 2105.5 以降で一般提供されています。

ChromeOS 向け Citrix Workspace アプリの最新バージョンを使用することをお勧めします。デフォルトでは、画面共有は無効になっています。画面共有を有効にするには、設定を参照してください。

- VDA バージョン 1906 以降。

ハードウェア：

ピアツーピアのビデオ会議通話または画面共有の最小要件は次のとおりです。

- 720p HD 解像度をサポートする 2.4 GHz クアッドコア CPU を搭載した Intel® Core™ i3 プロセッサー。

顧客体験向上プログラム (CEIP)

Citrix 顧客体験向上プログラム (CEIP) は、Citrix Workspaceアプリから構成データと使用状況データを収集し、自動的にCitrix Analyticsに送信します。このデータにより、Citrixはパフォーマンスを分析し、Citrix Workspaceアプリの品質、機能、パフォーマンスを向上させ、製品開発のためのリソース配分を最適化し、適切な人員配置とインフラ投資を通じてサービスレベルをサポートすることができます。

すべてのデータは集計形式でのみ使用および分析され、個々のユーザーやデバイスが特定されたり、個別に分析されたりすることはありません。CitrixはCEIPを通じて個人を特定できる情報 (PII) を収集することなく、すべてのデータ収集は、関連する業界のデータプライバシーおよびセキュリティ基準に準拠しています。

データ収集

収集されるデータ	説明	使用目的
構成データと使用状況データ	Citrix 顧客体験向上プログラム (CEIP) は、citrix-workspace-appから構成データと使用状況データを収集し、そのデータを自動的にCitrix Analyticsに送信します。	このデータは、Citrixがcitrix-workspace-appの品質、信頼性、およびパフォーマンスを向上させるのに役立ちます。

追加情報

Citrixは、お客様とCitrixとの契約条件に基づいてお客様のデータを処理し、Citrix Services Security Exhibitに従って保護します。詳細については、[Citrixトラストセンター](#)で入手可能なCitrixサービスセキュリティ展示を参照してください。

注:

CEIPはデフォルトで有効になっています。

CEIPデータをCitrix Analyticsに送信しないようにするには、次の手順を実行します。

1. ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリを起動します。
2. **設定 > 一般** に移動します。

CEIP(/en-us/citrix-workspace-app/chrome/media/disable-ceip.png)

3. **citrix-workspace-appの改善のために匿名の使用状況統計を送信する** のチェックを外します。

注：

- 変更を有効にするには、セッションを再起動します。

特定のCEIPデータ

Citrix Analyticsによって収集される特定のCEIPデータ要素は次のとおりです。

Citrix Workspaceアプリのバージョン	セッションモード (キオスク、パブリック/一般)	セッションタイプ (デスクトップ/アプリケーション)	XenDesktop情報 (Delivery ControllerおよびVDAのバージョン)
起動タイプ (SDK/ICAFile/FTA/Storeなど)	セッションのタイムゾーン	セッションの言語	クライアントキーボードレイアウト
ネットワークソケットタイプ (HTTPS/HTTP)	機能の使用状況 (クリップボード、ファイル転送、アプリスイッチャー、印刷、USB、スマートカードなど)	デバイスピクセル比	Secure ICA (使用済みまたは未使用)
登録済みエンタープライズChromebookの資産ID	再接続タイムアウト (if!= 180)	マルチモニター	グローバルアプリ構成サービス

登録済みエンタープライズChromebookの資産ID	再接続タイムアウト (if!= 180)	マルチモニター	グローバルアプリ構成サービス
USBデバイスのPID/VID	オーディオデバイス 情報	ChromeApp ID	新しいツールバーの 使用状況
Microsoft Teams関連 の使用状況	セッションIME	サービス継続性	

キーボード

東アジア言語向け汎用クライアントIME

汎用クライアント入力メソッドエディター (IME) 機能は、中国語、日本語、韓国語 (CJK) の文字での入力と表示のエクスペリエンスを向上させます。この機能により、セッション中にカーソル位置でCJK文字を入力できます。この機能は、Windows VDAおよびLinux VDA環境で利用できます。

一般的に、IMEは候補ウィンドウや変換ウィンドウなどのユーザーインターフェイス (UI) コンポーネントを表示します。変換ウィンドウには、変換中の文字と変換UI要素 (たとえば、下線や背景色など) が含まれます。候補ウィンドウには候補リストが表示されます。

IME(/en-us/citrix-workspace-app/chrome/media/ime-ui.png)

変換ウィンドウでは、確定された文字と変換中の文字を選択できます。変換ウィンドウと候補ウィンドウは、入力カーソルに合わせて移動します。その結果、この機能により、変換ウィンドウのカーソル位置での文字入力が強化されます。さらに、変換ウィンドウと候補ウィンドウでの表示も改善されます。

前提条件

- Linux VDAの場合、**クライアントキーボードレイアウト同期とIME改善ポリシー**を有効にします。
- Windows VDAの場合、**Unicodeキーボードレイアウトマッピング、クライアントキーボードレイアウト同期**、および**IME改善ポリシー**を有効にします。
- Citrix Linux VDAバージョン2012以降を使用します。Citrix Windows VDAの場合、現在利用可能なすべてのWindows VDAバージョンが汎用クライアントIME機能をサポートしています。
- ブラウザの言語は、日本語、中国語 (簡体字)、中国語 (繁体字)、または韓国語である必要があります。
- Google ChromeまたはMozilla Firefoxを使用します。

機能の制限

- Microsoft Excelのセル内で文字入力できません。この問題は、マウスのクリックでセルが選択されたときに発生します。

- マルチモニターセッションは、汎用クライアントIME機能をサポートしていません。代わりに、**サーバーIME**を使用してください。**サーバーIME**を有効にするには:
 - a. VDAまたはサーバーのキーボード言語を、希望に応じて中国語、日本語、韓国語（CJK）に変更します。
 - b. クライアントまたはChromebookのキーボード言語を英語に変更します。

カスタムキーボードマッピング

バージョン2309以降、VDAがWindows OSマシンであり、ネイティブ入力デバイスがChromeOSキーボードである場合、エンドユーザーはWindows固有のショートカットとキーの組み合わせを使用できます。カスタムマッピングを使用してCtrlキーとAltキーをマッピングできるようになりました。ユーザーは、左右のControl（Ctrl）キーをAltキーとして機能させるように選択できます。

注：

- マッピングは全画面モードでのみ可能です。
- 設定を保存すると、マッピングはすべてのセッションに影響します。
- この機能はデフォルトで有効になっています。

カスタムキーボードマッピング設定を適用するには：

1. ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリを起動します。
2. **設定 > 一般** に移動します。

次の画面が表示されます。

Account General Logging

All changes made will take effect after relaunching the sessions.

Multi-monitor settings

☒ Use all the monitors to span display

Customer Experience Improvement Program

☒ Send anonymous usage statistics to improve Citrix Workspace app
(Relaunch the app to apply this setting)

High DPI Scaling

☐ Scale the session for monitors with high device pixel ratio

Client cursor settings

☐ Show assistive cursor when actual cursor is not visible

USB Auto-Redirection Settings

☒ When a session starts, connect devices automatically

☒ When a new device is connected while a session is running, connect the device automatically

Custom Keyboard Mapping Settings (only in ChromeOS full screen mode)

☒ Send Alt key using: Left Ctrl

☒ Send Ctrl key using left Alt

Version 23.7.0.28

[Citrix Workspace app for Chrome Third Party Notices](#) [Send Feedback](#)

1. **Altキーの送信元** チェックボックスを選択し、ドロップダウンリストから **左Ctrl** または **右Ctrl** オプションを選択します。
2. **左Altキーを使用してCtrlキーを送信** チェックボックスを選択し、それに応じてキーをマッピングします。

ユースケース

Send Alt key using Left Ctrl を選択し、**Send Ctrl key using left Alt** をクリアすると、全画面表示モードでは左 **Ctrl** キーイベントのみが **Alt** キーイベントに変換されます。右 **Ctrl** キーと左 **Alt** キーは変更されません。

注：

- 右 **Alt** キーは、一部の非英語キーボードで入力方法の変更などの特殊なケースに使用されるため、通常は変換されません。

クリップボード

クリップボード操作を使用するには、コンテンツを選択し、キーボードショートカットを使用して **Ctrl + C** と **Ctrl + V** を押すことで、以下の形式をコピーアンドペーストできます。マウスイベントの右クリックによるコピーまたはペースト機能もサポートされています。

- プレーンテキスト
- HTMLデータ
- 画像クリップ

HTMLデータ形式のサポート

仮想デスクトップとエンドポイントデバイス間のクリップボード操作にHTML形式を使用できます。HTMLデータをコピーアンドペーストすると、ソースコンテンツの形式がコピーされ、データをペーストすると、宛先コンテンツも書式設定を保持します。さらに、HTML形式はより良いルックアンドフィールを提供します。

画像クリップのコピーのサポート

標準のキーボードショートカットを使用して、ローカルデバイスと仮想デスクトップおよびアプリケーション間で画像クリップをコピーアンドペーストできます。例として、Microsoft Word、Microsoft Paint、Adobe Photoshopなどのアプリを使用できます。

注：

- ネットワーク帯域幅の制約により、2 MBを超える画像クリップをコピーアンドペーストしようとする、セッションが応答しなくなる可能性があります。
- 選択して **Ctrl + C** と **Ctrl + V** を押すことでコピーアンドペーストできます。右クリックによるコピーまたはペースト機能もサポートされています。
- BMP、PNG、JPEG、GIFなどの形式を使用できます。

マルチメディア

オーディオ

デバイスのオーディオまたはUSBヘッドセットを介して話したり聞いたりできます。USBヘッドセットのボタン（ミュートやスキップなど）を使用することもできます。スムーズなオーディオ出力を提供することで、ユーザーエクスペリエンスが向上します。

プラグアンドプレイオーディオデバイスのサポート

複数のオーディオデバイスをサポートし、それらを仮想デスクトップセッションにリダイレクトします。オーディオデバイスをリダイレクトすると、仮想デスクトップセッションの**サウンド設定 > 再生およびサウンド設定 > 録音**の下にオーディオデバイス名が表示されるようになりました。VDA上のデバイスリストは、オーディオデバイスが接続または切断されるたびに動的に更新されます。

既知の制限事項

- VDAでは、内蔵オーディオデバイスの名前は英語のみです。この問題は、ChromeOSベースのデバイスを使用している場合に発生します。

Webカメラ

ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリは、仮想デスクトップおよびアプリセッション内で、32ビットおよび64ビットアプリケーション、内蔵および外部Webカメラの両方に対するWebカメラリダイレクトをサポートしています。Workspaceアプリは、新しく接続された外部Webカメラを検出し、動的に使用可能にします。

Webカメラリダイレクトの推奨事項

- 最高のパフォーマンスを得るには、ハイエンドのChromebookと、良好な帯域幅接続を備えた低遅延ネットワークを使用してください。

Microsoft Teamsの最適化

仮想デスクトップおよび仮想アプリセッションで、Microsoft Teamsの以下の機能を使用できるようになりました。

- 最適化された音声通話
- 最適化されたビデオ通話
- 最適化された画面共有
- e911のサポート
- 背景ぼかし効果
- デュアルトーン多周波 (DTMF)
- ライブキャプション

注記:

- VDAバージョン1906以降でのみサポートされています。
- デフォルトでは、画面共有では画面全体を共有できます。
- Microsoft Teamsの最適化を使用した画面共有中、共有ウィンドウの周囲に赤い枠線は表示されません。
- アプリ共有はサポートされていません。
- マルチモニター設定では、ビデオ通話中、参加者のビデオは1つのモニターに表示されます。

外部モニターでのビデオ通話と画面共有

外部モニターで、通話中にMicrosoft Teamsの以下の機能を使用できるようになりました。

- 最適化されたビデオ
- 最適化された画面共有

これらの機能は、仮想デスクトップ内のMicrosoft Teams通話で利用できます。また、Microsoft Teamsのウィンドウを外部モニターに配置した場合、Microsoft Teams仮想アプリを介した通話でも利用できます。

注記 (ChromeOSバージョン96アップデート)

- ChromeOSバージョン96アップデートがMicrosoft Teamsの機能に影響を与えないようにするには、ChromeOSをアップデートする前に以下を実行してください。
- Citrix Workspaceアプリの再パッケージ版をご利用のお客様は、Knowledge Centerの記事 [CTX331648](#)を参照し、手順を実行してください。
- ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのバージョン2110以前のその他のすべてのユーザーは、Knowledge Centerの記事[CTX331653](#)を参照してください。

動的e911のサポート

citrix-workspace-appは動的な緊急通話をサポートしています。Microsoft Calling Plans、Operator Connect、およびDirect Routingで使用する場合、以下の機能を提供します。

- 緊急通話の設定とルーティング
- セキュリティ担当者への通知

通知は、VDA上のMicrosoft Teamsクライアントではなく、エンドポイントで実行されているcitrix-workspace-appの現在の場所に基づいて提供されます。

Ray Baum法では、911通報者の派遣可能な位置情報を適切な公共安全応答拠点（PSAP）に送信することが義務付けられています。ChromeOS向けcitrix-workspace-app 2112以降、HDXによるMicrosoft Teams最適化はRay Baum法に準拠しています。

Microsoft Teams の最適化における背景のぼかしとエフェクト

2303リリース以降、ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリは、ビデオ通話におけるMicrosoft Teamsの最適化で、背景のぼかしとエフェクトをサポートします。Microsoft Teamsが提供する背景エフェクトをぼかすか置き換えることで、シルエット（体と顔）に会話の焦点を合わせ、予期せぬ邪魔を避けることができます。この機能はP2P通話および会議通話で使用できます。この機能はMicrosoft TeamsのUIに統合されています。

注:

- デフォルトでは、この機能は無効になっています。この機能を有効にするには、組織の管理者に連絡してサポートを受けてください。
- マルチウィンドウサポートは、VDAを2112以降にアップデートする必要がある前提条件です。詳細については、「[マルチウィンドウ会議とチャット](#)」を参照してください。

制限事項

- 管理者およびユーザー定義の背景の置き換えはサポートされていません。
- この機能を有効にすると、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。
- ICAセッションが再接続されると、エフェクトはオフになります。ただし、Microsoft TeamsのUIでは、以前のエフェクトがチェックマークで「オン」のまま表示されます。CitrixとMicrosoftはこの問題の解決に向けて協力しています。

Microsoft Teamsでのデュアルトーン多周波（DTMF）のサポート

citrix-workspace-appは、Microsoft Teamsでの電話システム（PSTNなど）とのデュアルトーン多周波（DTMF）シグナリングインタラクションおよび会議通話をサポートするようになりました。この機能はデフォルトで有効になっています。

Microsoft Teamsライブキャプション

Microsoft Teamsでライブキャプションが有効になっている場合、Microsoft Teamsの最適化は、話者が話している内容のリアルタイム転写をサポートします。

セカンダリリンガーのサポート

2312リリース以降、Microsoft Teamsが最適化されているときに、セカンダリリンガー機能を使用して、着信通知を受け取るセカンダリデバイスを選択できるようになりました。

例えば、スピーカーをセカンダリリンガーとして設定し、エンドポイントがヘッドホンに接続されているとします。この場合、Microsoft Teams は着信音をヘッドホンとスピーカーの両方に送信します。次の場合、セカンダリリンガーを設定できません。

- 複数のオーディオデバイスに接続されていない場合
- 周辺機器が利用できない場合（例：Bluetoothヘッドセット）

注

デフォルトでは、この機能は無効になっています。

この機能の既知の制限事項

- この機能を有効にすると、セカンダリリンガーがわずかな遅延を伴って2回鳴ることがあります。この問題はMicrosoft Teamsのバグであり、今後のMicrosoft Teamsリリースで修正される予定です。

ファイル処理

ファイル転送

ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリは、ユーザーデバイスとCitrix Virtual Apps and DesktopsおよびCitrix DaaSセッション間で安全なファイル転送機能を提供します。

デフォルトでは、ユーザーは次のことができます。

- ローカルのダウンロードフォルダーまたは接続された周辺機器からリモートデスクトップセッションにファイルをアップロードする。
- Citrix Virtual Apps and DesktopsおよびCitrix DaaSセッションからローカルデバイスにファイルをダウンロードする。
- デバイス上のローカルフォルダーまたは周辺機器にファイルをダウンロードできます。

機能の特性

- ユーザーは一度に最大10個のファイルをアップロードまたはダウンロードできます。
- 最大ファイルサイズ：
 - アップロードの場合：2147483647バイト（2 GB）
 - ダウンロードの場合：262144000バイト（250 MB）

機能の制限

- デスクトップへのファイルのアップロードまたはデスクトップからのファイルのダウンロードポリシーのいずれかが**無効**に設定されている場合でも、ツールバーにはアップロードアイコンとダウンロードアイコンの両方が表示されます。ただし、機能はポリシー設定に基づいていません。両方のポリシーが**無効**に設定されている場合、ツールバーにはアップロードアイコンとダウンロードアイコンは表示されません。

クライアントドライブマッピング

2307バージョン以降、クライアントドライブマッピング (CDM) 機能は、ローカルのChromeOSデバイス上のフォルダーマッピングをサポートしており、セッション内からアクセスできます。シス

テムファイルを含まないフォルダーであれば、ChromeOSデバイス上の任意のフォルダー（例：ダウンロード、Googleドライブ、USBドライブのフォルダー）をマッピングできます。

次の操作を実行できます。

- セッションからマップされたドライブへ、またはその逆方向にファイルやフォルダーをコピーできます。
- マップされたドライブ内のファイルとフォルダーのリストを表示できます。
- マップされたドライブ内のファイルコンテンツを開き、読み取り、変更できます。
- マップされたドライブ内のファイルプロパティ（変更時刻とファイルサイズのみ）を表示できます。

この機能により、HDXセッション内のファイルエクスプローラーで、仮想デスクトップドライブとローカルマシンドライブの両方に同時にアクセスできるという利点が得られます。

既知の制限事項

- マップされたドライブ内のファイルやフォルダーの名前を変更することはできません。
- マッピングにはフォルダー名のみが含まれ、フルパスは含まれません。
- ローカルフォルダーに隠しファイルがあり、そのフォルダーをマッピングした場合、隠しファイルはセッション内のマップされたドライブで表示されます。
- マップされたドライブ内のファイルプロパティを読み取り専用アクセスに変更することはできません。
- リムーバブルデバイスからフォルダーをマッピングし、アクティブなセッション中にそのデバイスを取り外した場合、セッション内でマップされたドライブを使用することはできません。マッピングを手動で削除するには、特定のマップの横にあるXマークをクリックします。

マッピングを削除(/en-us/citrix-workspace-app/chrome/media/cdm-remove-mappings.png)

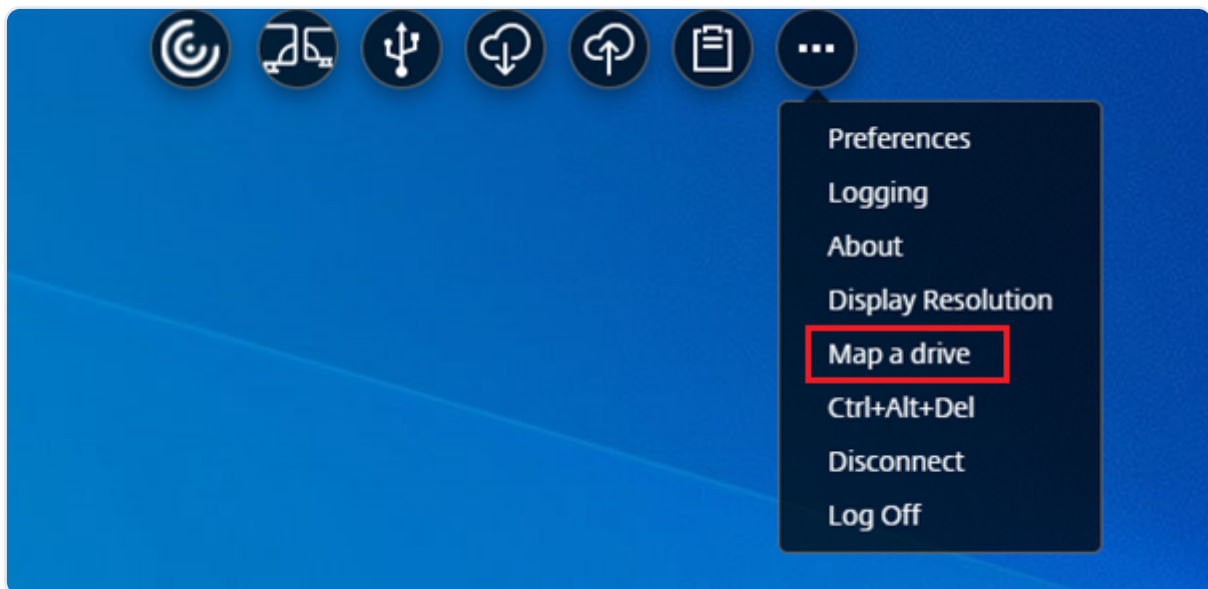
アクセスレベル

機能が有効になっている場合、フォルダーまたはドライブのアクセスレベルを設定できます。たとえば、管理者が**availableAccessLevels**をとして設定した場合、ドロップダウンリストに**読み取り専用アクセス**と**アクセスなし**のオプションが表示されます。

CDM機能の使用方法

デスクトップセッションの場合:

1. ツールバー > その他 (...) > ドライブのマップに移動します。

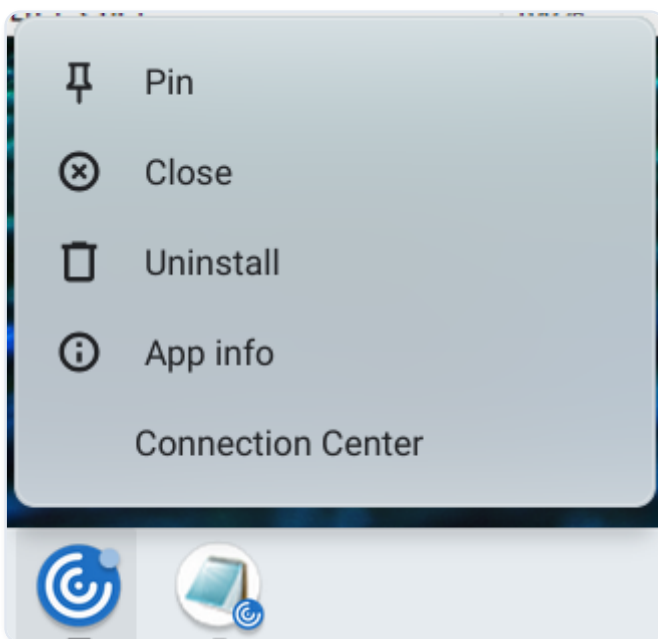


CDMダイアログが表示されます。

2. 次の手順については、「[CDM UIの使用方法](#)」セクションを参照してください。

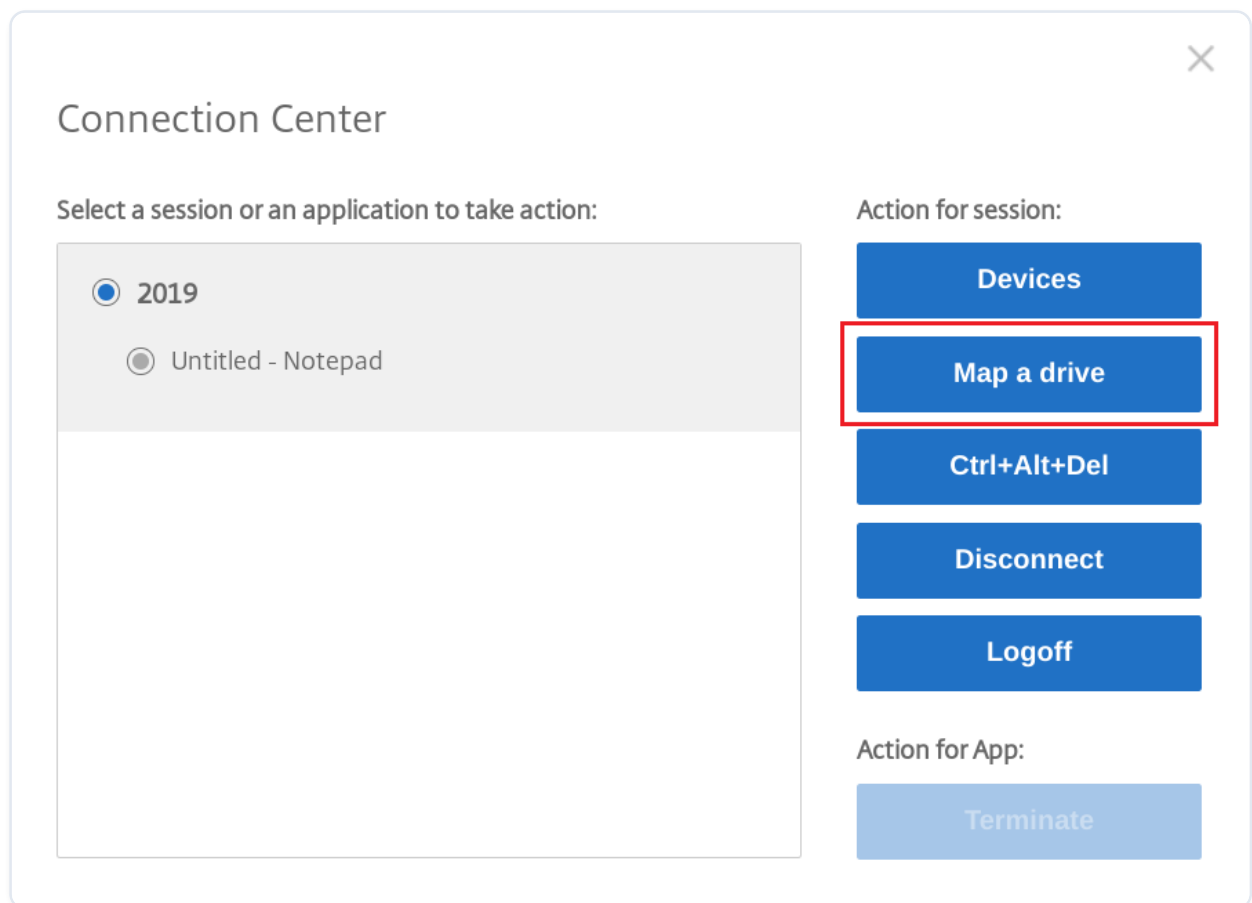
アプリおよびデスクトップセッションの場合:

1. Chromeシェルフから、citrix-workspace-appアイコンを右クリックし、**接続センター**を選択します。



接続センター画面が表示されます。

2. セッションとアプリを選択します。ドライブのマップをクリックします。

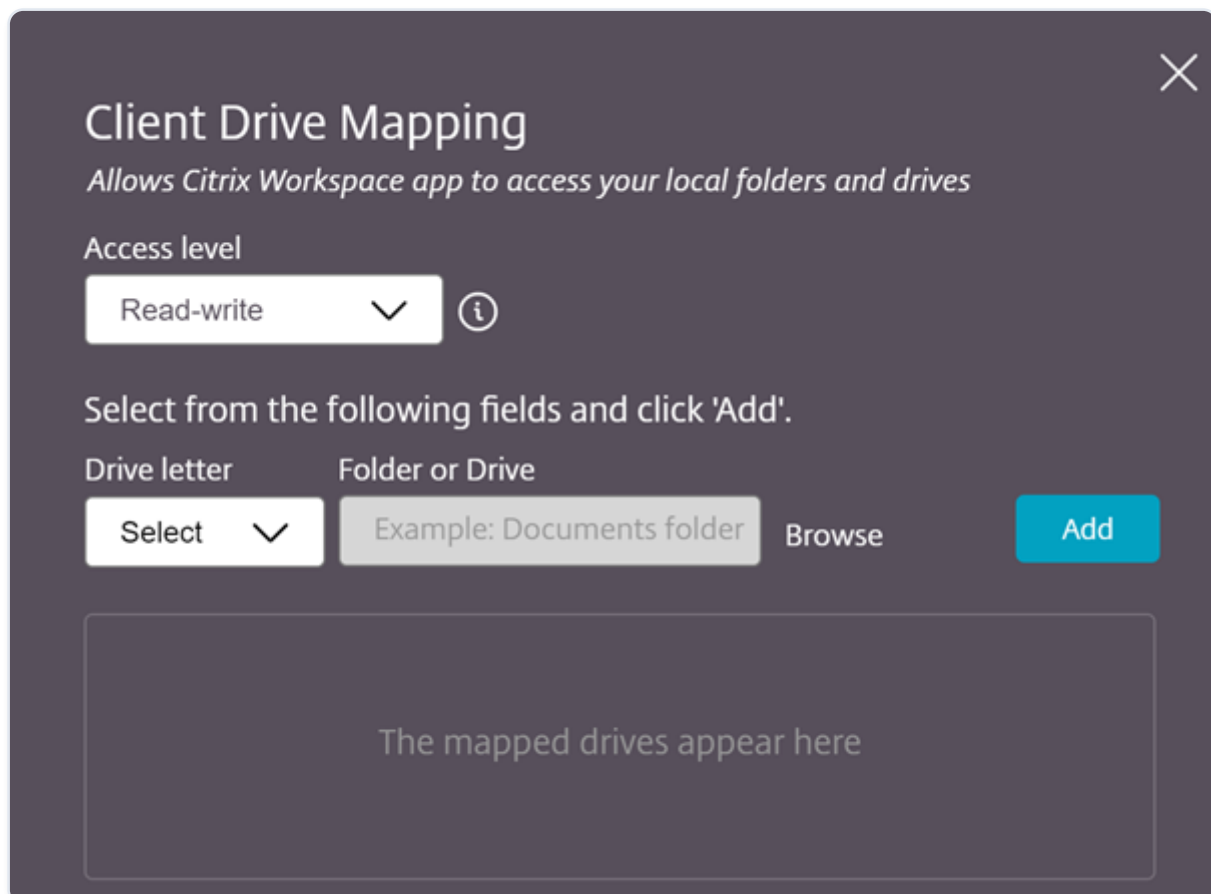


CDMダイアログが表示されます。

3. 次の手順については、「[CDM UIの使用方法](#)」セクションを参照してください。

CDM UI の使用方法

1. フォルダーまたはドライブのアクセスレベルを選択します。表示されるドロップダウンリストのオプションは、組織のIT管理者がプロファイルに設定したアクセスレベルによって異なります。



Client Drive Mapping

Allows Citrix Workspace app to access your local folders and drives

Access level

Read-write ▼ ⓘ

Select from the following fields and click 'Add'.

Drive letter Folder or Drive

Select ▼ Example: Documents folder Browse Add

The mapped drives appear here

2. ドライブ文字を選択し、参照をクリックしてChromebook内のフォルダーまたはドライブに移動します。
3. 追加をクリックします。
4. セッションを切断して再接続します。

セッション内にマップされたドライブ文字がセッションに表示されます。

グラフィック

DPIスケーリング

ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリは、オペレーティングシステムがアプリおよびデスクトップセッションの解像度を制御することを可能にし、単一モニターでのセッション向けDPIクライアントスケーリングをサポートします。

ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリは、高ピクセル比のモニターでVDA解像度を設定できるようにすることで、DPIスケーリングをサポートします。

アプリおよびデスクトップセッションでは、**高DPIスケーリング**機能はデフォルトで無効になっています。高DPI対応デバイスでより良い解像度を得るには、**設定**に移動し、**高DPIスケーリング**チェックボックスを選択します。

DPIスケーリングの図(</en-us/citrix-workspace-app/chrome/media/dpi.png>)

デスクトップセッションの解像度を設定するには、セッションツールバーに移動します。VDAで正しい解像度を設定するには、**基本設定 > 表示解像度 > デバイスピクセル比を使用**を選択します。VDAで解像度が適切に設定されると、ぼやけたテキストがより鮮明になります。

アシストカーソル

デスクトップセッション内でカーソルが表示されない場合、アシストカーソルを有効にできます。設定後、セッションを再起動してください。

周辺機器

複合USBリダイレクト

2211リリース以降、管理者は、デバイスの特定のインターフェイスがUSBリダイレクトを介してセッションにリダイレクトされるかどうかを構成できます。複合USBデバイスの特定の構成インターフェイスをUSBリダイレクトを介してCitrix Workspaceアプリセッションに選択してリダイレクトできるようになりました。

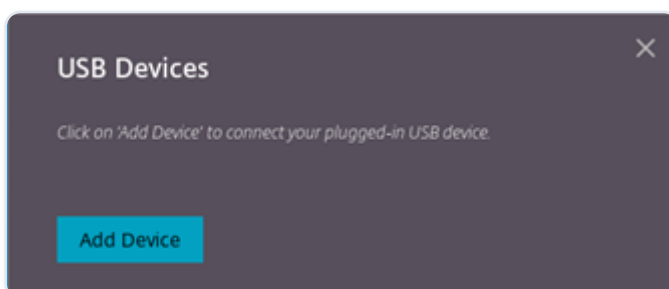
この機能の使用方法

複合USBリダイレクト機能を使用するには：

1. ツールバーのUSBアイコンをクリックします。



USBデバイスが接続されていない場合、次のポップアップが表示されます。



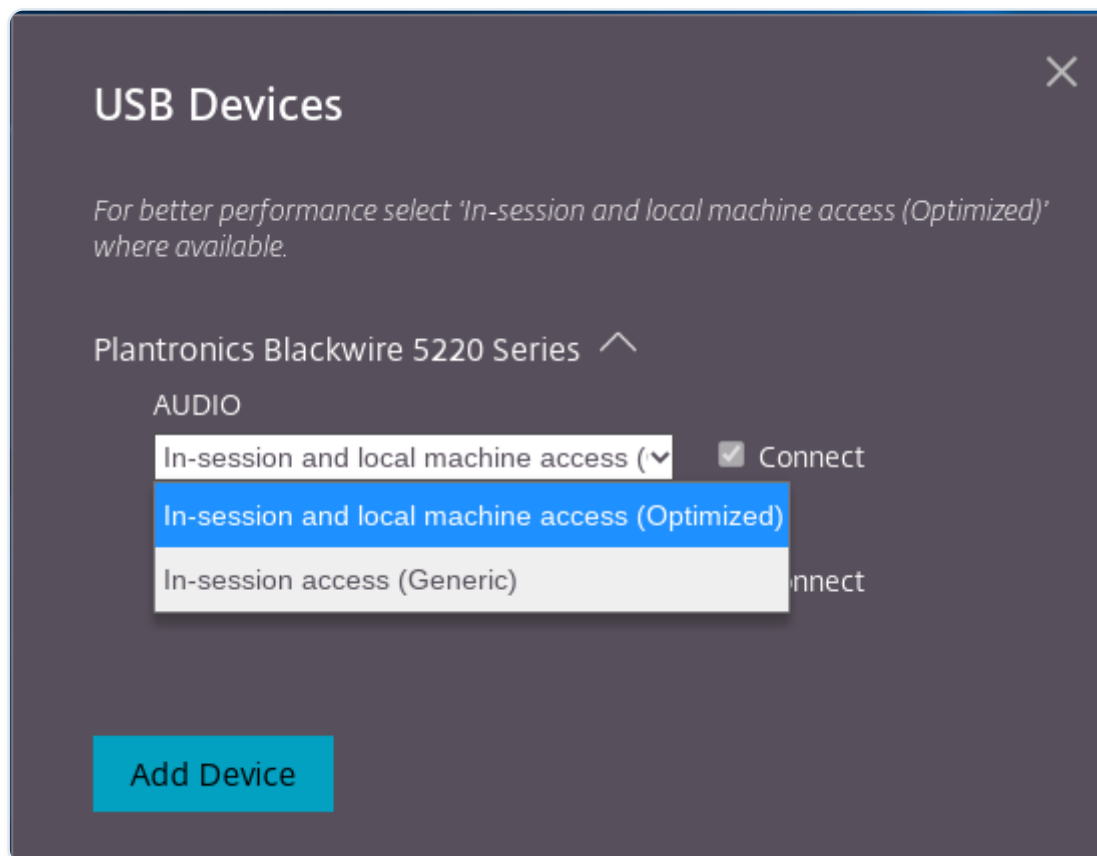
2. USBデバイスをローカルマシンに接続します。 次のポップアップが表示される場合があります。



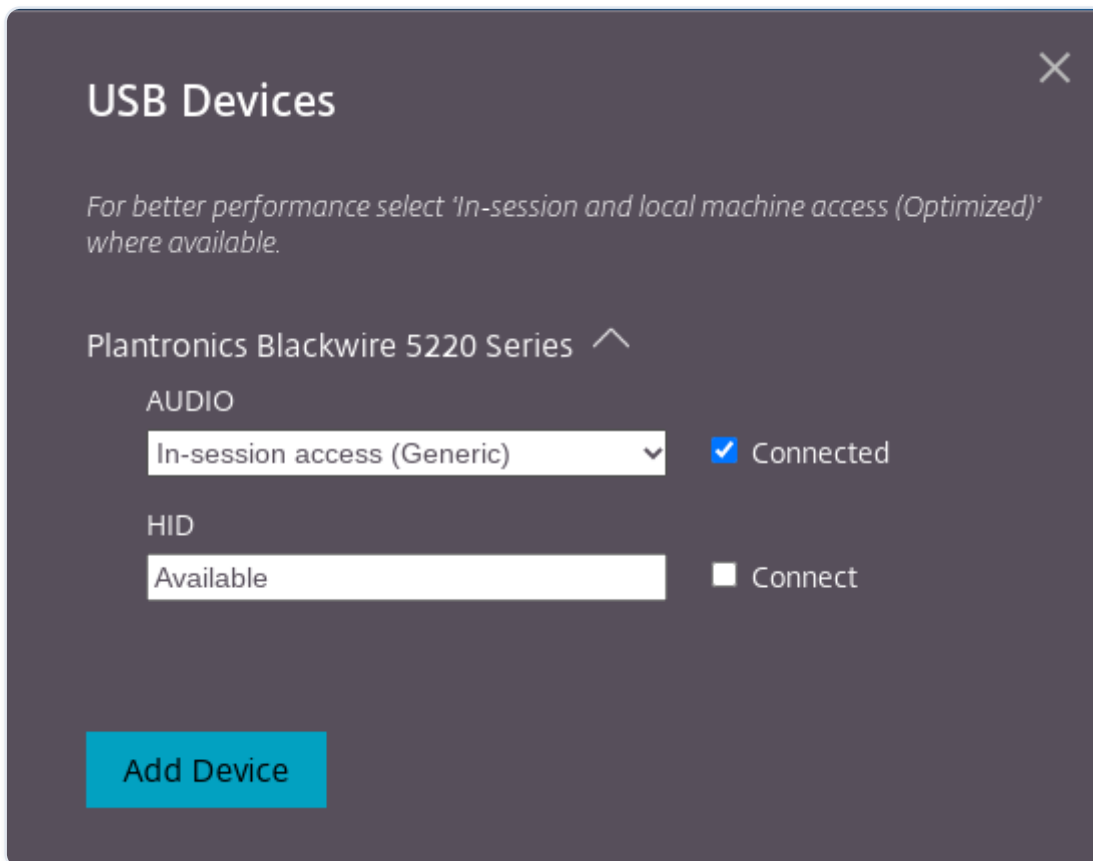
3. **USBデバイス**をクリックして、USB構成要素を表示およびリダイレクトします。接続が成功すると、Citrix WorkspaceアプリがUSBを検出します。各USB構成インターフェイスには、ドロップダウンメニューが表示されます。2つのオプションは次のとおりです。

- **セッション内およびローカルマシンアクセス（最適化済み）**：デバイスとセッションの両方でUSBにアクセスしたい場合に、このオプションを選択します。

- セッション内アクセス（汎用）：セッション内でのみUSBにアクセスしたい場合に、このオプションを選択します。パフォーマンスを向上させるには、**セッション内およびローカルマシンアクセス（最適化済み）**オプションを選択します。



4. インターフェイスをリダイレクトするには、**接続**を選択します。



リダイレクトが成功すると、ステータスは**接続済み**に変わります。

注：

- USBデバイスを手動で追加するには、**デバイスの追加**をクリックします。USBデバイスを一覧表示するChromeピッカーダイアログが表示されます。リストからデバイスを選択できます。
- USBデバイスの接続が拒否された場合、次のエラーメッセージが表示されます。

「管理者が新しく挿入されたデバイスをブロックしました。組織の管理者に連絡して支援を求めてください。

セッション間でUSBインターフェイスを転送する方法

ツールバーのUSBアイコンをクリックすると、セッションに接続されているUSBデバイスのリストが表示されます。USBデバイスが別のセッションですでに使用されている場合、USB構成要素に別のセッションに**接続済み**というステータスが表示されます。

現在のセッションにリダイレクトするには、USB構成要素の反対側にある**接続**を選択します。ステータスはそれに応じて変更されます。

複合USB自動リダイレクト設定

バージョン2301以降、Virtual Desktopセッション内の任意のUSBデバイスに対して、自動リダイレクトの優先設定を選択できます。citrix-workspace-appは、USB自動リダイレクトを制御できるアプリレベルの設定を提供するようになりました。優先設定を行い、セッション起動後も設定を保存できます。

2つのオプションがあります。1つはセッション起動時、もう1つはセッション実行中です。

Account General

All changes made will take effect after relaunching the sessions.

Multi-monitor settings
☒ Use all the monitors to span display

Customer Experience Improvement Program
☒ Send anonymous usage statistics to improve Citrix Workspace app
(Relaunch the app to apply this setting)

High DPI Scaling
☐ Scale the session for monitors with high device pixel ratio

Client cursor settings
☐ Show assistive cursor when actual cursor is not visible

USB Auto-Redirection Settings
☒ When a session starts, connect devices automatically
☒ When a new device is connected while a session is running, connect the device automatically

Version 23.1.0.24

[Citrix Workspace app for Chrome Third Party Notices](#) [Send Feedback](#)

注：

- この機能は、オンプレミスおよびクラウド展開をサポートし、管理対象のChromeユーザーでのみ利用可能です。

複合USBデバイスUIの機能強化

2306リリース以降、複合USBデバイスの設定が「"split": true」に設定されている場合、**USBデバイス UI**は、インターフェースクラスではなくインターフェース番号に基づいてコンポーネントを表示します。

ユーザーインターフェース

以下に例を示します。

USB Devices ✕

For better performance select 'In-session and local machine access (Optimized)' where available.

SpeechMike III ^

AUDIO

In-session and local machine access (Optimized) ☒ Connect

HID Interface Number 3

Available ☐ Connect

HID Interface Number 4

Available ☐ Connect

HID Interface Number 5

Available ☐ Connect

HID Interface Number 6

Available ☐ Connect

Add Device

印刷

ネットワークプリンターのサポート

2305リリース以降、ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリはネットワーク印刷をサポートします。セッション内でChromebookに接続されているプリンターのリストを表示できます。ユーザーは、ローカルデバイスで中間PDFファイルを生成することなく、プリンターを直接選択できます。この機能は以下でサポートされています。

- VDAバージョン2112以降。
- ChromeOSバージョン112以降。

ストア設定

複数のストアのサポート

2305リリース以降、IT管理者は複数のストアをエンドユーザーに割り当てることができます。これにより、エンドユーザーは正確なストアURLを記憶することなく、複数のストア間を簡単に切り替えることができます。この機能は、複数のストアにアクセスする際のユーザーエクスペリエンスを向上させます。

複数のStoreFront

Citrix Workspaceを再起動することなく、ストアアドレスを変更できます。既存のCitrix Workspaceセッションがある場合、中断することなく実行され続けます。

ストアを追加するには：

1. ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリで**設定**をクリックし、**アカウント**タブを選択します。
2. **ストアURL**または**メールアドレス**フィールドにStoreFrontのURLまたはメールアドレスを入力します。
3. **適用**をクリックして新しいストアを保存します。

Account General Logging ×

Store URL or Email address
Apply

Select a store URL

✎

Version 23.5.0.38

Citrix Workspace app for Chrome Third Party Notices Send Feedback

ストアを切り替えるには、**ストアURLを選択**リストからストアを選択します。

Account General Logging ×

Store URL or Email address
Apply

Select a store URL

https://sampleWeb.citrix.com✎ ×

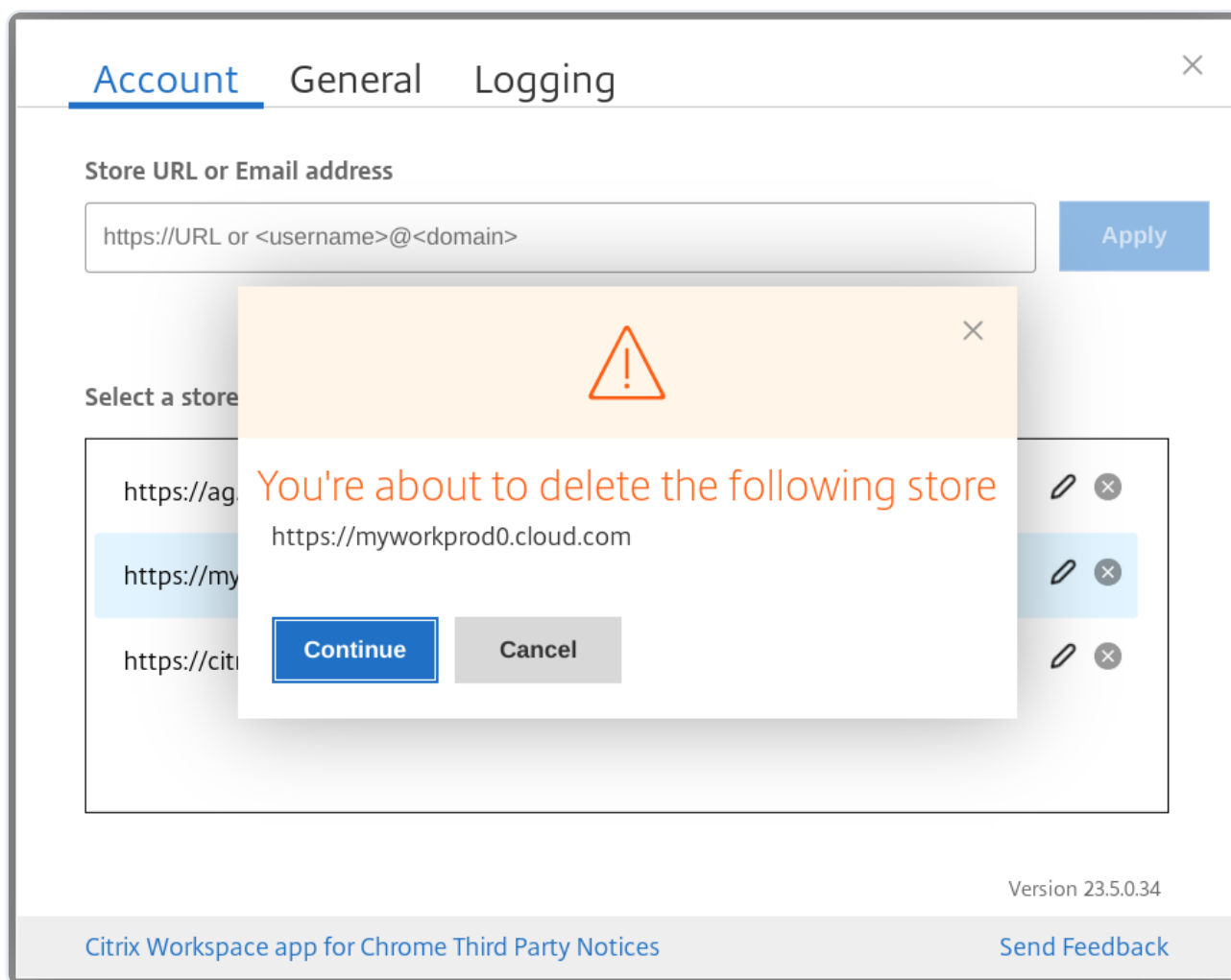
https://sampleCloudStore.cloud.com✎ ×

https://sampleStoreWeb.domain.com✎ ×

Version 23.5.0.38

[Citrix Workspace app for Chrome Third Party Notices](#)[Send Feedback](#)

リストからストアを削除するには、削除したいストアアドレスの横にある  をクリックし、削除を確定します。



ストアの再読み込み

Citrix Workspaceアプリ for ChromeOSウィンドウに、再読み込み操作のボタンが追加されました。このボタンをクリックすると、ストアのCookieがクリアされ、ストアページが再読み込みされます。

ストアの更新

2307リリース以降、公開済みアプリの重複インスタンスを回避するために、以下の構成を適用できます。

注：

- デフォルトでは、この構成は無効になっています。この構成を有効にすると、公開済みアプリの重複インスタンスは表示されません。ストアを更新するには、 アイコンをクリックします。

メールアドレスのストア検出

ストアURLを記憶する必要なく、メールアドレスを使用してCitrix Workspaceアプリにアクセスできるようになりました。アカウントに割り当てられたストアが自動的に表示されます。メールに関連付けられているストアのリストを表示するには、[アカウント] > [ストアURLまたはメールアドレス] ドロップダウンメニューに移動します。

注：

ストアURLを使用してサインインすることもできます。

Account General Logging

Store name	Store URL
Store	https://abcd.com:443 

Store URL or Email address

Add

Version

Citrix Workspace app for Chrome Third Party Notices [Send Feedback](#)

ストアURLの短い名前

以前はストアURLを表示できましたが、ストアURLの短い名前を追加または変更する機能はありませんでした。このため、管理者とユーザーがストアURLを記憶するのが困難でした。

2402リリース以降、管理対象ユーザーの場合、管理者はGoogle管理コンソールからストアURLとともにカスタムストア名をプッシュできます。この機能により、ユーザーは異なるストアを簡単に識別できるようになります。また、管理者は、属性`allowEditStoreName`を`true`または`false`に設定することで、ユーザーがストア名を編集できるかどうかを決定できます。詳しくは、以下の構成セクションを参照してください。

BYODユーザーの場合、ストア名は自動生成されます。たとえば、「Store」、「Store 1」、「Store 2」などです。ストアは、[メールベースのストア検出機能](#)を使用して入力されます。ユーザーは必要に応じてストア名を編集できます。

機能の制限

- エンドユーザーがストアURLを編集すると、サービス継続機能が正常に動作しない場合があります。

機能の使用方法

デフォルトでは、BYODユーザーはストア名を編集できます。一方、管理対象ユーザーの場合、組織の管理者がストア名の編集を許可している場合は、次のことができます。

1. ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリを起動します。
2. アカウントタブで、編集したいストアURLを特定します。
3. ストアの編集ボタンアイコンをクリックします。

[Account](#) General Logging

Store name	Store URL	
Store 9	https:// cloud.com	 
Store 1	https:// cloud.com	 
Store 2	https:// .cloud.com:	 
Store 3	https:// .com:	 

Store URL or Email address
Add

Version 24.2.0.18

[Citrix Workspace app for Chrome Third Party Notices](#)[Send Feedback](#)

アカウントの編集ダイアログボックスが表示されます。

Edit Account

Store name

URL

SaveCancel

4. 関連付けることができるストア名を入力します。
5. 保存をクリックします。

タッチとモビリティのサポート

タッチのサポート

ChromeOS 向け Citrix Workspace アプリは、タッチ対応の Chrome デバイスでタブレットモードでセッションを実行できるようにすることで、タッチサポートを強化しました。この機能には、ジェスチャ、マルチタッチ、およびソフトキーボード機能のサポートが含まれます。

Chrome デバイスがタブレットモードの場合、セッションツールバーにキーボードを開くアイコンが表示されるようになりました。この機能を使用するか、3本指でタップすると、ソフトキーボードが表示されます。

タッチ対応デバイスでセッションを起動すると、ジェスチャはデフォルトでパンモードで処理されます。ツールバーを使用してマルチタッチモードに切り替えることができます。この機能により、より良いユーザーエクスペリエンスが提供されます。

タッチデバイスでのジェスチャの機能強化

23.4.0 リリース以降、citrix-workspace-app は、ジェスチャ、マルチタッチ、およびソフトキーボード機能 (タブレットモード) に関連するエンドユーザーエクスペリエンスを強化します。citrix-workspace-app セッションでは、タップ、スワイプ、ドラッグなど、おなじみのすべてのマルチタッチジェスチャを使用できます。

ジェスチャガイドは次のとおりです。

これを行うには:	CITRIX-WORKSPACE-APP で、これを行うには:
シングルクリック	1本指タップ
右クリック	タッチ、ホールド、リリース
オンスクリーンキーボードを開く	3本指タップ（またはツールバーからキーボードアイコンをタップ）
ドラッグ	タッチ、ホールド、スライド
カーソルを有効にする	2本指タップ

キーボードの自動表示

初めて使用するユーザーは、入力フィールドに表示されるフローティングキーボードボタンを使用して、サーバー上でキーボードの自動表示を有効にできます。2回目以降は、キーボードが自動的に表示されます。

機能の制限事項:

- ソフトキーボードを表示するための3本指タップは、マルチタッチモードでは機能しません。パンモードでのみ機能します。
- ソフトキーボードを適切に機能させるには、システムソフトキーボードではなく、セッションツールバーのキーボードを開くアイコンを使用して常に閉じてください。システムソフトキーボードを使用してソフトキーボードを閉じると、ソフトキーボードが予期しない動作をする可能性があります。

URLリダイレクト

この機能が有効な場合、URLはサーバーVDAでインターセプトされ、ユーザーデバイスに送信されます。URLは、追加のダイアログポップアップなしでローカルデバイスで開きます。

fix

This is the content for the sample heading topic. It is hidden from the main table of contents but remains accessible via links.